

地域の課題をとらえて

3氏が一般質問



西澤 裕之

Q、上昇し続ける介護保険料についてどのように考えているのか。
A、ニーズに沿ったサービス体制の整備を行っており、止むを得ない上昇であったと考えている。

「第5期幌延町介護保険事業計画の策定と高齢者福祉について」

質問 多段階設定をしただけでは低所得者層の負担軽減にはなっていないため、基準額に対する割合を下げた方が良いと考えるが。

町民課長 多段階設定をすることによって低所得者層の負担が増えるという認識はない。第4段階に特例段階を設定して軽減対策をしているが、それによりシステム上、基準額が上昇する。それを更に補うため7段階に設定した。割合を下げると、第5段階以上の負担が重くなり、格差が広がる。

町長 この7段階設定で実施していくことで、ご理解をいただきたい。

質問 幌延町では、被保険者が受けられる介護サービスの種類が限られ、事業所

を選択する事が出来ない状況にあるが、各事業所が行っているサービスの量と質に関してどう考えているか。

町長 民間事業者の参入は非常に厳しい状況であると認識している。施設サービスについては、介護度の高い待機者は数名である。居室サービスについては、限られたサービス内容ではあるが、概ね利用希望に沿った提供体制にあると認識している。

質問 介護従事者を対象に町が研修会等を実施する考えはないか。

町長 専門的分野であることから、各種団体が実施する研修会や、各事業所において独自研修を実施するの

が有効と考える。費用助成が必要であれば検討したいと思っている。

質問 介護保険料を抑制するには、予防介護を重視した施策の実施や、介護が必要になった場合でも可能な限り在宅介護が出来るような施策が必要だと考えている。そこで、小規模多機能型居宅介護が有効だと考えるがどうか。また、介護給付によらないサービス、例えば、町内会を活用した安否確認や見守りの実施などを行う考えはないか。

町長 小規模多機能型居宅介護が有効なサービスであるとの認識はある。また、居宅介護の必要性も認識している。しかし、地域のニーズや介護保険制度によらないサービス体制の強化を含む

め、総合的に判断していく必要性があると考えており、質問されたことを参考に、今後検討したいと思っている。

質問 社会福祉士の必要性が高まっていると考えるがどうか。

町長 福祉行政の充実を図るための体制強化が必要であるが、その職種については、地域実情を考慮して判断する。



保育所こぞくら荘慰問風景



吉原 哲男

「幌延地圏環境研究所との連携について」

質問 町長は低温チーズの特許申請を取り下げると聞

いたが、町民の期待と夢もあり、今すぐチーズ工房が